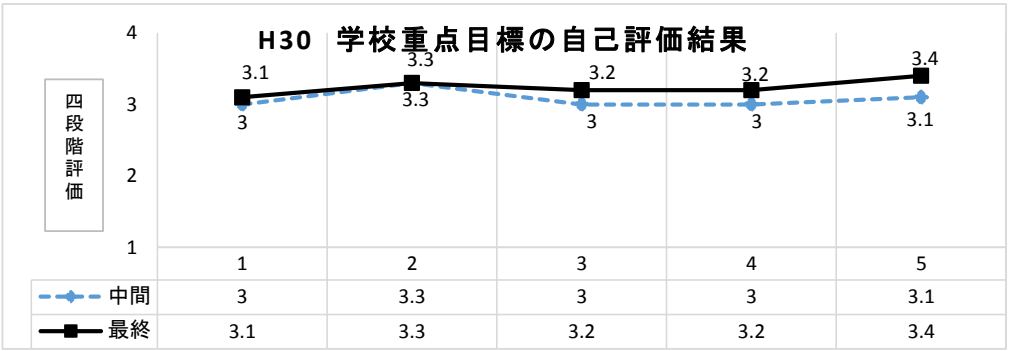
平成30年度 学校評価の取組状況及び結果について

鹿児島県立指宿養護学校

１　平成30年度 学校重点目標の自己評価結果について

平成30年度 学校重点目標
１　『個々を伸ばす授業力の向上』
○　児童生徒の発達段階や特性に応じ，専門性に基づきながら，一人一人を伸ばす指導の充実を図る。 ー教師間の共通理解と人的支援の工夫ー
２　『健康の保持と増進』
○　学校安全計画に基づき，感染症予防や食育推進など健康の保持と増進に努める。 ー健康管理と行動特性への専門的な対応ー
３　『心に届く生徒指導』
○　生活習慣の確立を図り，心身の発達上の課題に向き合い，全職員の共通理解のもとに心に届く生徒指導を実践する。　ー学校・家庭・地域一体となった生活指導の連携ー
４　『社会生活力の育成』
○　各学部特性に応じた進路指導や生活・社会体験的な学習をより推進する。 ー実習や校外学習等を通した実社会での生活経験の拡大ー
５　『センター的機能の効率的な推進』
○　産業現場等における実習や交流学習などを通して，特別支援教育への理解啓発を図るとともに各教育機関や福祉機関，行政機関等との連携を推進する。　ー中高連絡会や巡回相談等を通した地域のネットワーク構築ー



	1	2	3	4	5
中間	3	3.3	3	3	3.1
最終	3.1	3.3	3.2	3.2	3.4

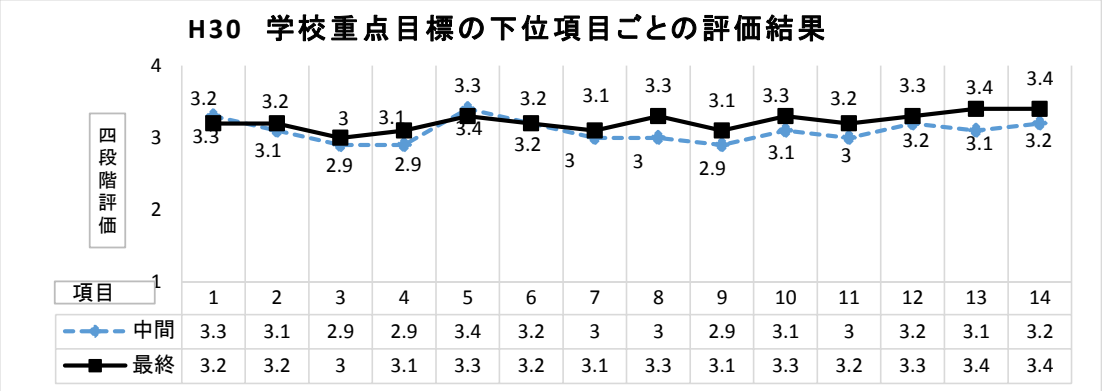
（結　果）

４段階評価で中間評価平均は「３．０」，最終評価平均では「３．２」となり，０．2ポイントの増加が見られた。その中で，「５センター的機能の効率的な推進」と「２健康の保持と増進」の重点目標については高い評価結果となった。

平成30年度の重点目標に向けての職員の取り組みとして，「おおむね達成できている」のではないかと思われる。（重点目標の下位項目ごとの評価結果は，次ページ参照）

２　学校重点目標の下位項目ごとの評価結果について

１授業改善に関すること	２教師間の共通理解・指導に関すること	3一人一人に応じた自立活動の推進に関すること
4教育課程の改善に関すること	5健康の保持増進に関すること	６食育に関すること
7生活指導に関すること	８いじめ問題対策の充実に関すること	９進路研修，進路情報提供に関すること
10社会体験的な学習の推進に関すること	11キャリア発達に則した進路指導に関すること	12外部機関と連携した進路指導に関すること
13交流及び共同学習に関すること	14地域への特別支援教育の支援に関すること	



（結　果）

最終評価においては，14項目中で項目13「交流及び共同学習に関すること」と項目14「地域への特別支援教育の支援」が「３．４」と高い評価結果となった。項目13については，小学校・中学校との学校間交流，児童生徒が居住する地域の小学校・中学校との交流，地域の関係機関・団体等との交流の充実に努めてきた。項目14については，地域の幼・保・小・中・高等学校への巡回相談や地域の教員向けの特別支援教育夏期セミナー，地域の中学校・高等学校との情報交換会，地域の教員との特別支援教育に関する学習会等を実施してきた。このような取組により高い評価結果になったと思われる。

中間評価と比較して，特に項目８「いじめ問題対策の充実に関する」と項目13「交流及び共同学習に関すること」が，それぞれ「０．３ポイント」の増加が見られた。項目８については，全校でいじめ問題を考える週間の取組やいじめ問題等相談員派遣事業に係わる職員研修を実施してきた。項目13については，上述のとおりで高い評価結果とともに，ポイントの増加が見られた。

次年度においても，学校運営方針の重点目標の達成に向けて，全職員で工夫・改善に努めていきたいと考える。